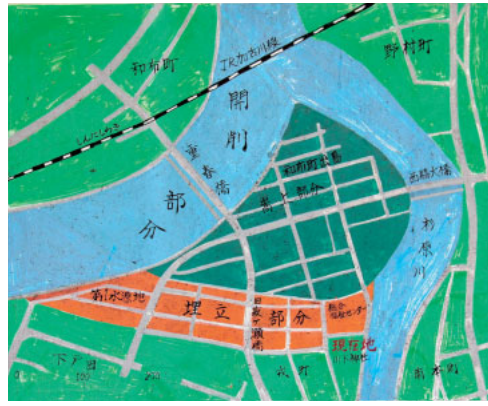


# 75 萩ヶ瀬埋立地 (西脇)

## みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲埋め立て部分を示した図



▲川下神社内に建てられた碑



昭和初期まで加古川の本流は、下戸田から戎町の南側を流れていました。しかし、水はけが悪く、大雨で付近一帯がしばしば冠水したことから、大正末期に本流を現在のJＲ加古川線沿いに直進させる工事が行われることになりました。

新川への通水後に旧本流は廃川となり、昭和17年には西脇区に対し、旧本流の埋め立てが許可されました。ただ戦時下であったため工事は進まず、本格的に埋め立てが始まったのは、戦後の昭和23年でした。埋め立てには3年を要し、その大部分は宅地として売却されました。

なお、杉原川も昭和4年に護岸工事が開始され、昭和7年からは現在の中本町、南本町の埋め立てが実施されています。

### 編集室から

陸月は「親類や知人が互に行き来し、仲むつまじくする月」に由来するそうです。東日本大震災を受けて昨年を象徴する漢字には「絆」が選ばれました。今はインターネット上でも交流の輪が広がる時代、以前よりもさまざまな人との「絆」が生まれているのかもしれませんが。今月の「クローズアップ」で紹介した宮田久也さんは私の同級生、互いの仕事がきっかけで再開とは不思議なものですが、人とのつながりは大切にしていきたいですね。

つながりと言えばタスキリレー。昨年末の全国高校駅伝大会では、西脇工業高校が粘りの走りを見せ4位入賞、多くの市民も応援に駆けつけました。市では特別班を組み全区間で選手の活躍を追いかけましたのでご覧ください。

毎日新聞社主催「第24回近畿市町村広報紙コンクール」で昨年度に続き優良賞をいただきました。これを励みにより親しんでいただける「広報にしわき」を編集していきます。今年もどうぞよろしくお祈りします。【H】

### 今月の一枚



皆既月食を観るためにテラ・ドームへ。観測には11年ぶりの好条件、欠けいく神秘的な月に多くの人が見入っていました。

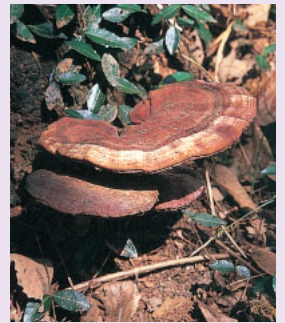
発行／西脇市  
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605  
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014  
西脇市HP / <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

## 西脇の自然

### マンネンタケ (まんねんたけ科)

#### 西脇市動植物生態調査 研究グループ



夏から晩秋にかけて生える硬いキノコで表面にニスを塗ったような環状の光沢があり、朽ちににくいので真冬でも見ることが出来ます。名前は「れいしん靈芝」と呼ばれており、特にはウメの木に生えたものは薬用として珍重されます。古代中国では10万本の古木に2〜3本しか採れない希少なキノコで、宮中に発生すると天下泰平の印として祝宴を挙げたと記されています。また、日本書紀にも薬効が記載されており、不治難病の特効薬として最も古いキノコで民間薬の中では不動の地位を占めています。医薬品ではなく健康食品に分類されています。

### 西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日  
(年末年始を除く)  
午前9時～午後5時

- ◆問合せ ☎23-5380
- ※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。  
必ず健康保険証を持参ください。

#### 1月の出務予定医師

1月 8日(日)	山本 壽幸 先生
1月15日(日)	生野 哲雄 先生
1月22日(日)	林 武志 先生
1月29日(日)	道上 俊高 先生